

# 国道230号新ルート 供用開始

## 流通・観光両面から期待ふくらむ



共用開始を祝うテープカット

2000年の有珠噴火で寸断された国道230号の新ルートが、3月28日(水)1時7分に供用開始され、洞爺地区や洞爺湖温泉地区への通路が短縮されるだけでなく、札幌や函館方面からの流通や観光に関しても、交通網の大動脈として今後多いに期待でき、関係者も喜んでいました。新ルート国道230号は、全線のほぼ8割がトンネルで、三豊トンネルが延長1,970m、青葉トンネルが同1,719mとなつていきます。三豊トンネルの洞爺湖温泉側には、災害時ににおける避難用のスペースも作られており、防災への視野も行き届いて



事前にトンネルを見学した児童ら

ています。当日の午前11時30分からは、町長や議会議員、町内自治会長をはじめ、室蘭開発建設部長、胆振支庁長など関係者が集まり、テープカットや車両による記念パレードを行い、開通を祝いました。供用開始に先だって、3月26日には室蘭開発建設部主催の、親子トンネル見学会と火山を学ぶ実験教室が午後から行われ、夜には宇井忠英北大名誉教授による防災講演会が開かれました。トンネル見学会には、町内の親子21人が参加し、興味深く説明に聞き入っていました。

## 開発局からのお知らせ

一般国道230号新ルートの供用開始に伴う現道の移管について

平成12年3月31日の有珠山噴火による被災により通行不能となっていた一般国道230号の新ルートが3月28日に供用開始されるのに伴い、平成19年度から国道に編入していた道道豊浦洞爺線・豊浦京極線が北海道の管理に戻ります。

また、現国道230号の一部が、道道洞爺湖登別線及び洞爺湖町道に移管しますので、お知らせします。

